

公明ひらつか

共生社会構築を目指して

秋澤 雅久 議員

情報のユニバーサルデザインについて

問 点字が読める視覚障がい者は全体の約1割だが、市からのさまざまな紙媒体による通知やウェブ上の文字情報へのアクセスについて市はどのように把握しているのか伺う。

市長 紙媒体による通知は、障害福祉サービスの居宅介護で代読や代筆を提供している。また、家族に代読をしてもらうなどの手段で情報を得ているものと把握している。ウェブアクセスについては、紙媒体と同様の代読のほか、ウェブサイトの文字情報を読み上げるソフトウェアの利用により、情報を取得していることを認識している。

問 視覚障がい者などへの文字情報アクセス支援として、通知内容を音声に変換するユニボイスと呼ばれる切手サイズの音声コードがある。ユニボイスの認識と各種通知文に導入することについて見解を伺う。

市長 文字を音声として再生する機能は、視覚障がい者などの文字情報の取得に有効であり、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の基本理念に沿うものとして認識している。現在、障がい福祉課において、ユニボイスのコード生成ソフトを試行導入し、音声コード変換や再生機能を確認するとともに、効果的な運用について検証をしている。各種通知文への導入については、この検証を踏まえて、まずは障がい福祉課での利用を開始し、その状況を検討したいと考えている。

認知症施策について

問 令和5年6月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立したが、本市のさまざまな認知症支援策にどう反映されるのか、また、どのようなことができるのか伺う。

福祉部長 これまでも国の認知症施策推進大綱に基づき、さまざまな認知症施策を先進的に行っており、法の成立による大きな変化はないと考えているが、国や地方公共団体、国民の責務が定められるなど法的な担保ができたことから、医療

問 スマートフォンのGPS機能を使い、現在位置や周辺のリスク状況、避難所までの道案内など、音声で情報を得ることができ、「耳で聴くハザードマップ」というアプリがあるが、導入についての見解を伺う。

市長 視覚障がい者のスマートフォン普及率が高まっていることや、音声データを読み上げる「耳で聴くハザードマップ」が開発されたことから、音声によるハザードリスクを知らせる仕組みを早期に導入できるように検討していく。

や福祉の関係団体だけでなく、さまざまな分野の団体に対し協力・連携が求めやすい状況が生まれ、現在行っている政策が進めやすくなることや、発展することを期待している。

問 若い世代へのバーチャルリアリティを活用した普及啓発や小中学校での認知症授業の考え方を伺う。

福祉部長 小中学校での認知症サポーター養成講座の実施や、親子向けの認知症サポーター養成講座の実施により普及啓発を進めており、更に内容の充実を図っていく。バーチャルリアリティを活用した認知症体験については、今後小中学生の体験について、導入が可能か検討を進めていきたい。

問 令和5年6月に「空家の空家等対策計画」が改正された。本市の空家等対策計画へどのように反映するのか伺う。

まちづくり政策部長 国から公表されるガイドラインの改正内容などを踏まえ、平塚市空家等対策協議会の意見も聞き、再改定などを検討していく。

問 放置状態になっている空家の対応を伺う。

まちづくり政策部長 所有者に現地調査の状況写真などを添えた文書を送付し、対応、是正をお願いしている。所有者と連絡が取れた空家については、定期巡回で状況を確認している。

問 空家バンクの活用について、専門家も入って、地域の特性を活かしたマッチングの発行について

問 事業継続・発展のためには、担い手の育成が必要である。福祉有償運送の認定ドライバー講習費用を市が負担する考えを伺う。

空家の放置を未然に防ぎ活気があふれるまちづくりを

五十嵐 豊 議員

問 令和5年6月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が改正された。本市の空家等対策計画へどのように反映するのか伺う。

まちづくり政策部長 国から公表されるガイドラインの改正内容などを踏まえ、平塚市空家等対策協議会の意見も聞き、再改定などを検討していく。

問 放置状態になっている空家の対応を伺う。

まちづくり政策部長 所有者に現地調査の状況写真などを添えた文書を送付し、対応、是正をお願いしている。所有者と連絡が取れた空家については、定期巡回で状況を確認している。

問 空家バンクの活用について、専門家も入って、地域の特性を活かしたマッチングの発行について

問 事業者への支援策を含め、事業者への支援策を検討する。

問 本市の公共交通は駅を中心に乗り換えをするが、これは健常者の考えである。海岸地域では市民病院に直接行きたいとの声が多くあるが、本市の考えを伺う。

まちづくり政策部長 まずは現状の交通網を維持するのが第一であり、現在の交通網を補完する形で、コミュニティバスや乗り合いタクシー、グリーンズローモビリティなどについて地域と検討を進めている。

問 がん患者に対するさまざまな支援の周知は、健康課が窓口となって対応すべきと思うが見解を伺う。

健康・こども部長 県立がんセンターのサポートハンドブックなど、県にリンクし正しい情報を提供出来るように関わっていきたい。

問 医療用ウィッグの購入助成金制度を導入すべきと考えられるが見解を伺う。

副院長兼事務局長 医療用ウィッグは無償貸与を

問 小中学校への遮熱塗装の導入について伺う。

健康・こども部長 遮熱塗料は太陽光を反射する効果があり、室内温度の上昇を抑える機能を備え、暑さ対策の一つになると考える。来年度予定している体育館の改修工事で採用の可能性を研究していきたい。

問 学校などの屋上に遮熱塗装することで冷房効率を上げられると思うが見解を伺う。

企画政策部長 費用対効果なども調査研究していきたいと考えている。

問 がん患者に対するさまざまな支援の周知は、健康課が窓口となって対応すべきと思うが見解を伺う。

公明ひらつか 所属議員 石田 美雪 議員 岡崎 通子 議員

インターネット中継 本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

